

平成 25 年 3 月 11 日

平成 24 年度 学校関係者評価報告書

学校法人森ノ宮医療学園
森ノ宮医療学園専門学校
自己点検・評価委員会
「学校関係者評価」専門部会委員会

学校法人森ノ宮医療学園 森ノ宮医療学園専門学校自己点検・評価委員会「学校関係者評価」専門部会委員会は平成 23 年度自己点検・自己評価報告書に基づいて学校関係者評価を実施し、以下のとおり報告いたします。

1. 学校関係者評価専門部会委員（「森ノ宮医療学園専門学校学校関係者評価に関する自己点検・評価委員会規程施行細則」による選出区分）

- ・鍼灸師または柔道整復師関連団体役員（同第 4 条第 1 項第 2 号）
伊藤 久夫 氏 公益社団法人大阪府鍼灸マッサージ師会会長
川口 靖夫 氏 公益社団法人大阪府柔道整復師会副会長
- ・本校卒業生（同第 4 条第 1 項第 3 号）
奥田 功 氏 奥田鍼灸院院長
- ・本校に在籍もしくは卒業した学生の保護者または保証人（同第 4 条第 1 項第 4 号）
浜田 暁 氏 森ノ宮医療学園校友会会長
- ・高等学校校長または高等学校校長経験者（同第 4 条第 1 項第 5 号）
石黒 典男 氏
- ・本校校長（同第 4 条第 1 項第 1 号）
安雲 和四郎 学校法人森ノ宮医療学園 森ノ宮医療学園専門学校
- ・校長の指名するもの（同第 4 条第 1 項第 6 号）
安田 実 学校法人森ノ宮医療学園 法人本部長
尾崎 朋文 学校法人森ノ宮医療学園 森ノ宮医療学園専門学校副校長

2. 基準項目ごとの学校関係者評価・意見

項 目	評 価
基準 1 教育理念・目的・育成人材等	・学園創立以来 40 年間、学園の理念が変わることなく通用しているのはすばらしい。 ・社会情勢の変化にも柔軟に対応してほしい。
基準 2 学校運営	・運営方針、事業計画の作成は十分できているが、現場の教職員へも周知を徹底することで、事業計画の理解と促進が深まるのではないかと。 ・同一部署内での業務の連絡と連携も大切である。

項 目	評 価
基準3 教育活動 (鍼灸学科)	<ul style="list-style-type: none"> ・鍼灸学科の教育内容を定めるものとして「あん摩マッサージ指圧師、はり師及びきゆう師に係る学校養成施設認定規則」があるが、認定規則を上回る新たな教育内容を打ち出して、それを業界内にぜひ広めてほしい。
基準3 教育活動 (柔道整復学科)	<ul style="list-style-type: none"> ・現在、柔道整復師の業界は問題を多く抱えている。学生にはいかに社会に貢献し、活躍できるかを教えて頂きたい。 ・学生としては学修が第一だが、加えて社会への貢献についても考えることのできる学生を育てていただきたい。
基準4 教育成果	<ul style="list-style-type: none"> ・国家試験の合格とその後の社会貢献が大切である。 ・(鍼灸) 現状では卒業直後の開業も難しくなっているため、業界の先生方と協力して開業支援や、病院等への就職支援を行ってほしい。 ・貴校の学生の臨床に対する評価は高いものがあると聞いている。
基準5 学生支援	<ul style="list-style-type: none"> ・現在の経済状況から学費負担者の収入が減ってきていると考えられる。貴校では対策をとっていると思われるが、勉学が続けられるよう、より一層奨学制度等の拡充をお願いしたい。
基準6 教育環境	<ul style="list-style-type: none"> ・教育環境自体は充実していると思う。大切なのはその有効活用である。 ・環境はより一層充実させてほしいが、その使用方法等、内容の充実についてもお願いしたい。
基準7 学生の募集と受け入れ	<ul style="list-style-type: none"> ・学生は将来を見据えて貴校を選択し、入学していると思う。貴校の持っている素晴らしい理念も理解してのことだと思う。 ・学園の理念に基づいた指導をお願いしたい。 ・学生は鍼灸、あるいは柔道整復に魅力を感じ、業界に入ってきていると思う。さらに貴校と業界がもっと連携すれば、学生の募集も広がっていくのではないかな。 ・貴校での3年の学修が終わった後、1、2年ほど臨床の現場に卒業生を迎え入れる卒後研修システムを考えていただきたい。あるいは少し時間を割いて臨床研修を行ってはどうかな。
基準8 財務	<ul style="list-style-type: none"> ・Web ページでも学園の財務状況が公開されているが、それを見ても特に問題なく、財務状況は健全だと思う。
基準9 法令等の遵守	<ul style="list-style-type: none"> ・鍼灸、柔道整復とも法令遵守は当然のことであると思う。これからも一層の法令遵守をお願いしたい。

項 目	評 価
基準 10 社会貢献	<ul style="list-style-type: none"> ・鍼灸の専門性を追求した卒後研修機関があっても良いのではないか。その中で貴校の施設を使わせていただきたい。 ・産科、婦人科の中に鍼灸が入っても良いのではないか。そのような貢献をお願いしたい。 ・貴校が主体としてセミナー等を行っているが、さらに業界と協同、連携等を企画されてはどうだろうか。我々業界団体としてもやっていきたいし、それがかなうならありがたい。学生の募集についても効果があるのではないか。

3. 学校関係者評価 全体的な総括について

項 目	評 価
自己点検・自己評価報告書を見ての全体的な意見	<ul style="list-style-type: none"> ・学園創立から約 40 年たっているが、まさに建学の精神に則り鍼灸学科、柔道整復学科合わせて全国一の規模になっている。 ・より一層発展し、質的向上にも期待したいと思う。 ・財政状況も入学予定定員が充足できているので安定している。 ・これからも将来的展望をもって運営していただきたい。

以上